

<報道関係用資料>

2024年2月1日

サトウのごはん 10ライン体制へ ～聖籠ファクトリーの生産ラインを増設し、安定供給を目指す～

サトウ食品株式会社（本社/新潟市、代表取締役社長/佐藤 元、以下「当社」）は、聖籠ファクトリー（新潟県北蒲原郡聖籠町）において、2月より、新たな製造ラインの稼働を開始しました。

これにより、聖籠ファクトリーの生産ラインを1ラインから2ラインへと増強し、当社のパックごはん製造は合計10ライン体制となります。生産能力は、現在の日産約103万食から123万食、年間では4億食の生産体制へと拡大します。

当社は、1988年に世界ではじめて無菌化包装米飯「サトウのごはん」を世に送り出して以来、「ご家庭で炊いたごはんと変わらぬ美味しさ」をコンセプトに生産の拡大と品質の追求に努めてまいりました。

この間、消費者の生活スタイルの変化とともに、パックごはんの需要は高まり続け、以前の「非常食」という位置づけから、電子レンジ2分で食べられる簡便性から「タイムパフォーマンス（タイパ）」を意識する共働き世帯などのニーズをつかみ、日常的に喫食される商品へと変化し、その市場規模は年々拡大し続けています。

当社におけるパックごはんの年間生産パック数も、この10年間で約2倍にまで伸びています。コロナ禍による需要増もあり、供給が追いつかずにお客様にはご迷惑をおかけしていました。今回のライン増設により、商品を市場に安定供給できる生産体制を構築するとともに、販売体制の強化を目指します。

■増設設備の概要

所在地：新潟県北蒲原郡聖籠町東港5丁目626番23

投資額：約45億円

生産品目：無菌化包装米飯「サトウのごはん」

生産能力：日産20万食 年間6,500万食

スケジュール：2023年3月 着工、2024年2月 生産開始

NEWS RELEASE

サトウ食品株式会社

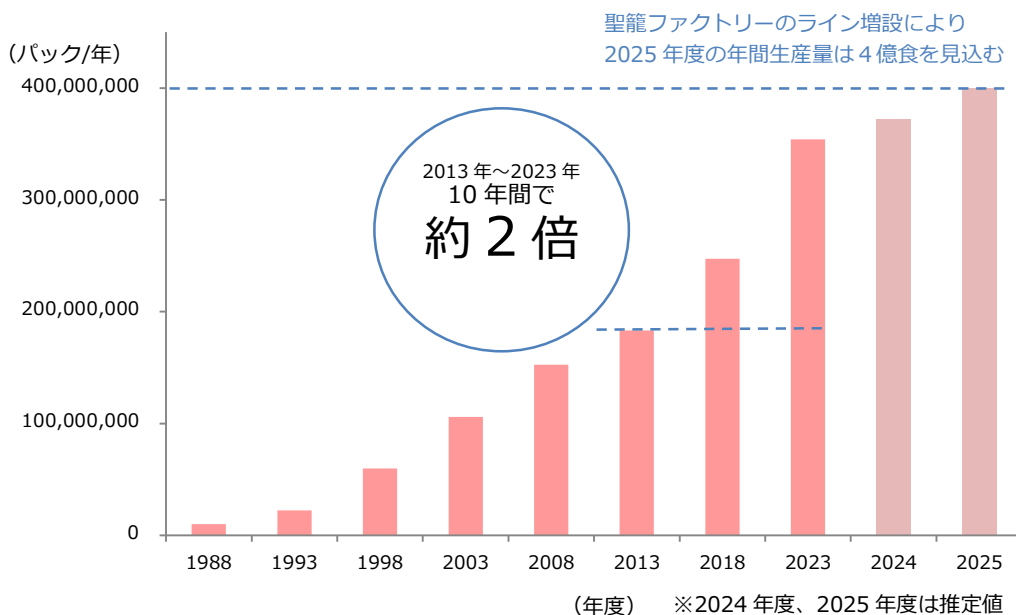
新潟市東区宝町13番5号 〒950-8730

<https://www.satosyokuhin.co.jp/>

■当社のパックごはん生産能力（日産）

工場	2024年2月1日以降
北海道工場（岩見沢市）	2ライン・20万食
東港工場（新潟県北蒲原郡聖籠町）	6ライン・63万食
聖籠ファクトリー（新潟県北蒲原郡聖籠町）	2ライン・40万食
合計	10ライン・123万食

【サトウのごはん 生産パック数の推移】



【聖籠ファクトリーの主要生産品目】



【聖籠ファクトリー外観】



サトウのごはん 新潟県産コシヒカリ